

あなたのまちと公園をよりよくしていくための ワークショップ ニュースレター No.1

【第1回】公園を使いやすくする方法を考えよう！

■開催概要

日 時 2026年2月7日(土) 10:00~12:00

場 所 山本野里会館

参加者 10名

■ワークショップ内容

イントロダクション

- ・ 宝塚市のこれからの公園づくり
- ・ 公園区計画の役割
- ・ まちづくりについて公園が貢献できることについて説明
(内容はこちらに掲載)



旗揚げ式アンケート

- ・ 事前アンケートにより整理した、地域・山本野里公園の「目指す姿(案)」を共有
- ・ 旗揚げ式によって、参加者に案について、追加意見等を確認

グループワーク

- ・ 提示した「目指す姿(案)」を前提に、実現に向けた山本野里公園での**具体的取組、想定課題、課題解決のアイデア**について意見交換
- ・ グループ発表



■小学校区単位での開催と対象公園設定について

- ・ 長尾公園区は広く公園も多い
- ・ 地域の方はお住まいの小学校区外の公園は知らないし、利用することも少ない

※公園区 = まちづくり協議会
(概ね小学校区ごとにある)

- ・ 小学校区で分けてワークショップを開催
- ・ 丸橋小学校区では、山本野里公園を対象公園に設定し、地域のみなさんの意見を確認



旗揚げ式アンケート



グループワーク

■旗揚げ式アンケート「地域・山本野里公園の目指す姿(案)」についての意見」

【地域の目指す姿(案)】

子どもがのびのび育ち、みんなで見守る安心・安全なまち

概ね良いと思う	8票
追加意見あり	2票

●案に対する意見

・高齢者の視点も必要

・アンケートの回答者が子育て層に偏っているのではないか

【山本野里公園の目指す姿(案)】

安心・安全に子どもがのびのびと遊び、地域の交流が生まれる公園

概ね良いと思う	1票
追加意見あり	9票

●案に対する意見

・高齢者の視点も必要
・健康づくりの場にもしたい

・(最も利用しているはずの)公園の南側の県営住宅の住宅の意見も反映した方がよい

■グループワーク「目指す姿の実現に向けた山本野里公園での取り組み、想定課題、課題解決のアイデア」

方向性	課題	解決策
担い手づくり	地域の交流の場・地域がつながるきっかけづくり	誰でも参加できるイベントを開催(餅つき、夏祭り、バザー等) 1.自治会、まち協、市、イベント会社等が運営する 2.イベント開催するため市民でグループをつくる若い人やママ友の参加を促す(声かけ等)
	公園をきれいに清潔に保つ	清掃や管理の質向上には定期的な清掃、管理が必要だが、現状足りておらず、常駐する管理者もいない 近隣住民や自治会等の地域協働による日常的な清掃(高木は市)、そのコミュニティづくり
	公園アドプトの高齢化や参加者減少	公園アドプトをPR
機能追加・更新	公園をきれいに清潔に保つ	植物への水やりの際、水道の蛇口にホースが繋がらない 水道の蛇口の改善は市に相談する
	高齢者も利用できるようにする(健康づくり等)	高齢者が利用しやすい、したいものがないベンチしかない 健康遊具、花壇の設置 団体で利用したときにみんなで座れるところがない みんなで座れるベンチの設置
	利用しやすくする	イベントや花見など行えるようにするなら、トイレがないと利用しづらい トイレの設置 イベントの備品を置くところがない イベントの備品などを置く物置の設置
管維持	公園をきれいに清潔に保つ	周辺の樹木が茂り、公園内部の様子が分かりにくい 周辺の木を整理して見通しを良くする
利用促進	入りやすくする	住宅地の奥まった位置にあり、公園の場所が分かりにくい 1.入口案内板や照明を設置 2.地面の舗装の色を変えてわかりやすくする 公園の南側にある県営住宅から入れない 南側のフェンスをなくして県営住宅からの経路を整備
	入りやすくする	公園の北側の細い路地の途中に残土処分場があり危ない 安全な通行ができるよう整備

他公園でできたらいいこと ボール遊びやテニスなど / 健康遊具 / 防災設備

第2回ワークショップでは、上記のご意見をもとに、「どうすれば実現できるのか?」を考えます。だれが、なにをするのか、いつごろから始められそうか、みんなが安心して使うためにはどんなルールがあるとよいかを話し合います。

あなたのまちと公園をよりよくしていくための ワークショップ ニュースレター No.2

【第2回】「どうやったら実現できる？」を考えよう！

■開催概要

日時2026年4月26日（日）10：00～11：30

場所山本野里公園

参加者9名



■ワークショップ内容

イントロダクション

- 宝塚市のこれからの公園づくり
- 第1回ワークショップのふりかえり

について説明

(前回のニュースレター等はここに掲載)



意見交換①

第1回ワークショップで整理した取組を実現するために

- 地域でできることや、実現に向けて必要な支援
- 地域と市それぞれの関わり方や進め方

について意見交換

意見交換②

みんなが公園を気持ちよく使うために

- 必要な工夫やルール
- 地域のほかの公園でできそうなこと

について意見交換

■今回の意見交換で見えてきたこと 対象公園：山本野里公園

地域が参加しやすいイベントづくりが求められている

定期的なキッチンカーやイベントの開催、多世代が気軽に参加できる催しへの期待がありました。実施に向けては、市による広報支援や運営面での協力が必要との意見が出ました。

公園を支える活動を広げていく必要がある

「公園アドプト」の認知不足や活動参加者の高齢化・減少を受け、地域行事や学校を通じたPR、わかりやすい情報発信など、参加者を増やす工夫について話し合いました。

将来的な整備に向けた意見が出された

入り口や動線の改善、高齢者向け健康遊具、ベンチ、トイレ、物置など、公園をより利用しやすくするための設備に関する意見がありました。これらは今後、市が公園整備の中で検討していく内容であり、実現には一定の期間を要することも共有されました。

日常的にきれいで安心して使える公園にしたい

使いやすい水道への改善や、地域による清掃・管理など、公園を気持ちよく利用するための環境づくりについて話し合いました。

■今後について

アンケートやワークショップでいただいた意見を踏まえ、地域で取り組めることや、市で検討する内容を整理しながら、今後の公園づくりにつなげていきます。また、将来的な整備や継続的な検討が必要な内容については、地域のみなさんと意見交換を行いながら検討を進めていきます。



意見交換の様子



公園利用者にも聞き取り

■意見交換① 取組を実現するために「地域でできること」「実現に向けて必要と考えられる支援」

前回のワークショップで整理したことについて、「どのように進めていくか」「地域・市それぞれにどのような役割が考えられるか」などを意見交換しました。また、すぐに取り組みそうなことから、将来的な整備が必要なものまで、実現に向けた進め方について話し合いました。

* **地域** 地域でできること **サポート** 実現に向けて必要と考えられる支援 **市** 市として必要となる検討・調整

* ●比較的に早期に取り組みそうなもの ●中長期的な検討が必要と思われるもの

実現までの期間は、ワークショップ参加者による意見交換の中で出されたイメージであり、今後の検討内容や条件等によって変わる場合があります。

地域の交流の場、地域が つながるきっかけづくり	●誰でも参加できるイベントを実施 サポート ・キッチンカー、イベントの定期的な催し ・市役所で業者選定と広報 (●6票) 市 ・行為許可等の手続をふめば、現在も開催可能 ●自治会、まち協、市、イベント会社等が運営する サポート ・高齢者と若年層が交流できる行事。 例：ゲームなどの検討 (●2票) 市 ・住民イベントは地域団体が主催してほしい ●イベント開催するため市民でグループをつくる。若い人やママ友の参加を促す。 市 ・関係部局と連携し、既存団体や子育て世代等の把握、マッチング、参加の呼びかけ等を通じて、主体の確保に向けた検討、取組を想定
公園をきれいに清潔に保つ	●公園アドプトPR 地域 ・小学校や地域の行事などでチラシを配布する (●3票) サポート ・アドプトについてわかりやすく広報する (●2票) ・チラシの作成 (●3票) 市 ・新たなPR手段の検討 ・アドプト活動の活性化や担い手の確保を図る ●近隣住民や自治会等の地域協働による日常的な清掃。コミュニティづくり。 市 ・新たなPR手段について検討し、アドプト活動の活性化や担い手の確保を図る ●周辺の木を整理して見通しをよくする サポート ・問題発生時の窓口がわかりにくいので、相談ルートを明確にしてほしい 市 ・必要に応じて、剪定伐採をおこなう ●水道の蛇口の改善は市に相談する サポート ・使いやすい水道にしてほしい 市 ・現況確認を実施
入りやすくなる	●入口案内板や照明を設置 市 ・公園周辺居住者の意向確認等が必要 ●地面の舗装の色を変えてわかりやすくする 市 ・担当部署、公園周辺居住者の意向確認が必要 ●南側のフェンスを無くして県営住宅からの経路を整備 サポート ・南側フェンスの開放、県営住宅との調整 (●1票、●1票) 市 ・県との調整、公園周辺居住者意向確認が必要 ●安全な通行ができるよう整備 市 ・現況確認、残処分場地権者との協議等を想定
高齢者でも利用でき なにもない	●健康遊具、花壇の設置 サポート ・健康遊具の設置 地域 市 ・具体的なニーズ確認 ●みんなで座れるベンチの設置 地域 市 ・具体的なニーズ確認
利用しやすい	●トイレの設置 サポート ・トイレの新設 市 ・トイレの設置条件について整理 ●イベントの備品などを置く物置の設置 市 ・倉庫の設置条件について整理

■意見交換② 公園を気持ちよく利用するために必要な工夫やルール

アンケートやワークショップで出た公園の使い方のなかで、工夫やルールが必要と思われるものについて、どんな工夫が必要かについて意見を出し合いました。

- 小さい子が遊べる **工夫**
 - ・虫が苦手な子のために、周辺植栽の管理
 - ・遊具周りの清掃
- ボール遊び **ルール**
 - ・誰もいないときならOK
- イベント開催 **工夫**
 - ・毎月、曜日固定でのキッチンカー誘致
 - ・簡単なゲーム、ガチャ、スーパーボールなどのイベントを実施

* 「花火ができる」等の利用方法、「地域のほかの公園でできそうなこと」については今回は意見が出ませんでした。

あなたのまちと公園をよりよくしていくための ワークショップ ニュースレター No.1

モルックで遊んで、公園の未来を話そう！

■開催概要

日 時 2026年5月23日(土) 10:00~15:00

場 所 中筋5丁目かいづか公園

参加者 20組51名(大人31人、小学生4人、幼児16人)

■ワークショップ内容

モルック体験

シールアンケート

- ・地域や中筋5丁目かいづか公園の「目指す姿(案)」について、シールで投票

アイデア出し

- ・「公園でやりたいこと」等について、付箋でアイデア出し



■小学校区単位での開催と対象公園設定について

- ・長尾公園区は広く公園も多い
- ・地域の方はお住まいの小学校区外の公園は知らないし、利用することも少ない

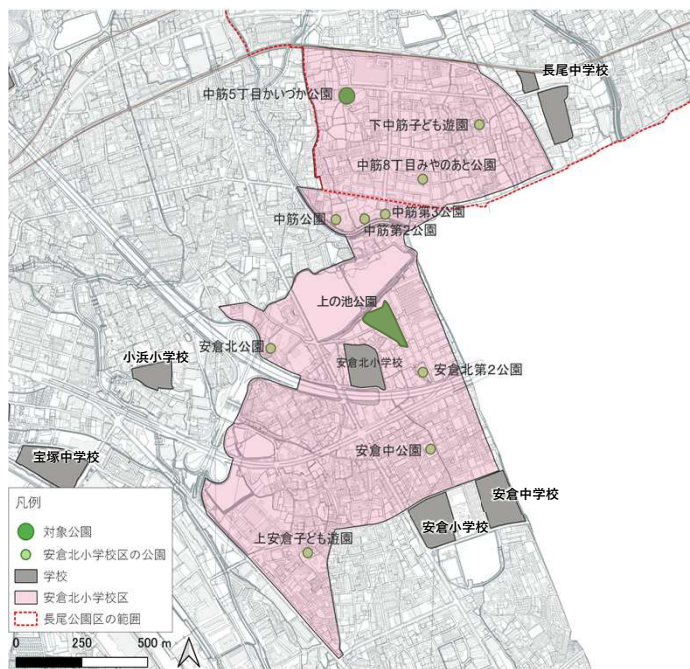
※公園区 = まちづくり協議会(概ね小学校区ごとにある)

- ・小学校区で分けてワークショップを開催
- ・安倉北小学校区では、中筋5丁目かいづか公園を対象公園に設定し、地域のみなさんの意見を確認

※対象公園は、安倉北小学校区内の「長尾公園区」から選んだ



(上) アイデア出し、(下) モルック体験



■シールアンケート「地域・中筋5丁目かいづか公園の目指す姿(案)についての意見」

【地域の目指す姿(案)】

子育て世代から高齢者まで、安心・安全に暮らせる、
自然とにぎわいが調和した地域

概ね良いと思う 追加意見あり

16票

4票

【中筋5丁目かいづか公園の目指す姿(案)】

子どもが主役となりつつ、多世代が集い・交流し、
日常とにぎわいをつなぐ地域の拠点

概ね良いと思う 追加意見あり

16票

1票

※地域・公園の目指す姿の追加意見としてでたアイデア

自然学習などで、知識が深められる
ような地域、公園がよい

この公園は活用できていないと思うので、
市と地域が一緒になってイベントを考えて欲しい

■ アイデア出し「公園でやりたいこと、できたらいいこと」

 課題(ワークショップでた声)
  解決のヒント(ワークショップでたアイデア)
  市で整理、補足した内容

	やりたいこと、できたらいいこと	課題、解決のヒント等
遊び場の充実	遊具で遊びたい 【すべり台(1)、うんてい(1)、アスレチック(1)、健康遊具(1)、小さい子どもも遊べる遊具(4)、自由な発想で遊べる遊具・施設(1)、だれでも使える遊具(1)、遊具が少ない、もっとほしい(4)、】	 利用状況や既存遊具とのバランスや安全性等を踏まえ、内容や規模を含めて実現可能性を検討
	水遊びがしたい(噴水など)	
	健康遊具を活用したい、もっとほしい	 使い方がわからない  説明をつける
地域の交流の場・地域が つながるきっかけづくり	イベントを楽しみたい ・犬のイベント(2) ・フードイベントやキッチンカー ・盆踊りがしたい ・謎解きイベント(景品をパネルのパンにする) ・パネルのパン作り料理教室 ・“ハロウィンツアー” 地域のお店とも協力して、子どもがまわるイベント。 交流づくりにもなる。 ・ピクニックシートで、ゆるっと音楽を楽しめるイベント ・家ではできないアートの製作イベント(絵の具、段ボール等)	 イベント自体は行為許可等の手続きをふめば、現在でも開催可能 一方で、イベントを企画・運営する主体が定まっていないため、今後、公園でイベントを実施したい地域団体や活動主体との連携・掘り起こしが必要
	遊びながら、交流し学びたい	 多様な活動に対応できる空間を今後検討
	住民主体で図書館を運営したい	 利用ニーズや活動主体の有無の把握、運営体制や関係機関との連携を含め、今後検討
滞在しやすく する	日陰がある	 保育所等で使われている全体を覆う遮光ネット
	夏場や雨天でも利用できる施設がある	 利用状況や維持管理面等を踏まえながら今後検討
	トイレがある オムツ替えができる場所がある	 トイレの設置条件(公園、管理等)について整理 周辺施設との役割分担も踏まえ、必要性を検討
利用の多様化	バーベキューができる	 周囲の利用者の安全確保が難しい
	花火ができる	 治安が気になる
	ボール遊びがしたい	 ボールが飛び出て危険  フェンスの設置
	移動図書館を利用したい	 利用状況やニーズを確認し、関係機関との連携を踏まえて実現可能性を検討
	様々な遊び、過ごし方ができる	 ルールが厳しい  子どもたちが自由に遊べるルールづくり
安全に遊べる	既存のロープ遊具の修理・メンテナンス	 現況を確認し、適切な維持管理計画の策定を検討
	自転車練習ができるゴムチップ舗装	 安全性向上の観点から、必要性や導入可能性を検討
	たばこ・自転車の乗入れルールの明確化	 利用マナーやルールの共有・周知のあり方を検討
	夜でも安心して通りたい	 外灯の設置
すく 利用し やす くする	駐車場がある	 周辺施設との役割分担も踏まえ、必要性を検討
	時計がある	 利用ニーズや必要性を踏まえ、導入のあり方を検討
その他	植物の名前を知れる	 樹名板の設置
	昆虫など自然を感じられる	 生きものが育つ環境づくりを検討

他公園でやっていること 小さい子どもが遊ぶ公園としてのすみ分け / 遊具の充実 / 年代別のゾーン分け (中筋8丁目みやのあと公園、御殿山公園参考)

他公園でやってほしいこと 遊具をなくし、自由に使える広場へ(中筋公園) / 小学生も遊びやすいよう、遊具の配置を改善(中筋第2公園) / 駐車場の設置(山本新池公園) / イベントの増加

今回のワークショップでは、地域のつながりや遊び場の充実、利用の多様化などについて多くの意見が寄せられました。今後は、これらの声を大切にしながら、地域でできること、市で検討する内容を整理し、公園づくりにつなげていきます。

あなたのまちと公園をよりよくしていくための ワークショップ ニュースレター No.1

公園をよりよくする方法を考えよう！

■開催概要

日 時 2026年5月30日(土) 14:00~16:00
場 所 御殿山会館 会議室 参加者 13名



■ワークショップ内容

イントロダクション

- ・宝塚市のこれからの公園づくり
- ・公園区計画の役割
- ・まちづくりについて公園が貢献できること

(資料についてはこちらを参照)



グループワーク①

- ・自治会、御殿山公園住民の意見等をふまえた、御殿山公園の**これからの方向性(案)**について共有
- ・方向性に対する印象や、御殿山公園で**どんな過ごし方をしたいか**を意見交換

グループワーク②

- ・方向性をもとに作成した御殿山公園の**計画イメージ(案)**について共有
- ・グループワーク①で意見交換した過ごし方を実現するために、計画イメージ(案)を見ながら**気になることや、改善点**について意見交換

■対象公園設定について

- ・宝塚公園区では、良く利用されていて広さもある御殿山公園を対象公園に設定

※公園区 = まちづくり協議会 (概ね小学校区ごとにある)



グループ間での意見交換→



■グループワーク① 御殿山公園のこれからの方向性(案)について

事前のアンケート等をもとに、市が御殿山公園の将来像のたたき台（全体コンセプト（案）・イメージ図（案）・各方向性（案））を作成しました。ワークショップでは、この案について「いいなと思った点」「少し気になった点」や、公園で実現したい過ごし方について意見交換を行いました。



いいなと思った(件数)



少し気になった(件数)

※件数は、参加者が印を付けた数であり、関心の高さや意見の傾向を示すものです。

※「特に大事にしたい過ごし方」については、**太字**で表現しています。

【全体コンセプト（案）】

防災機能も備えた多世代が交流できる空間



9件



0件

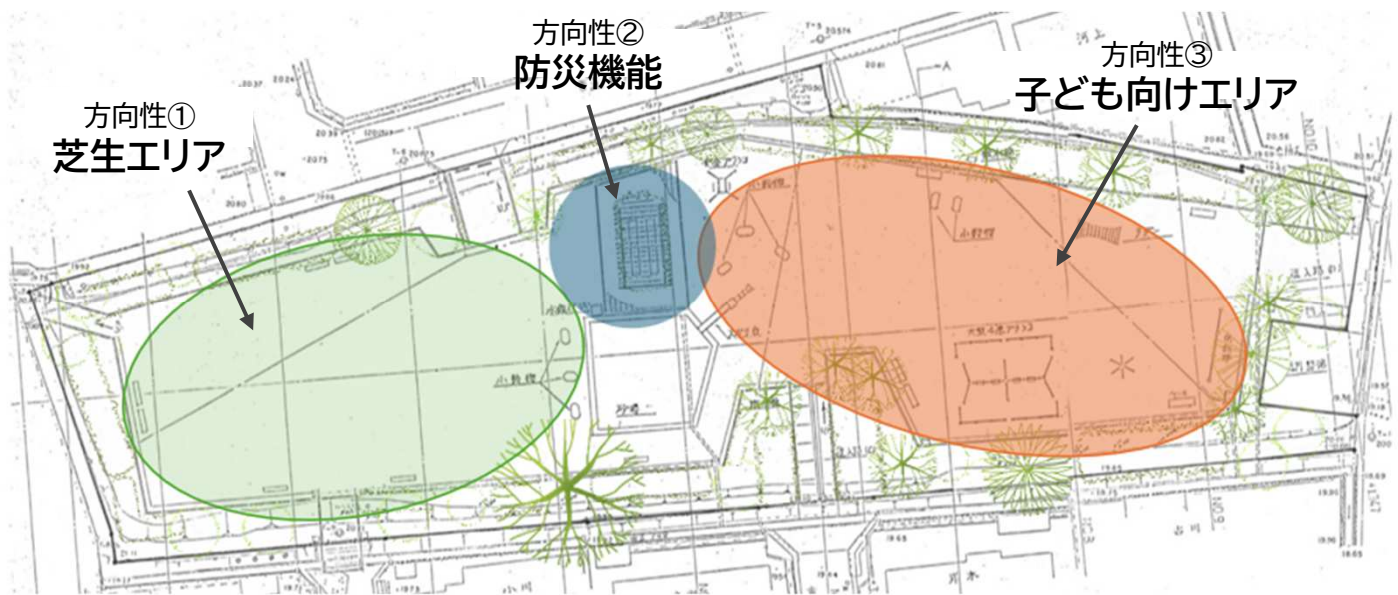
【参加者からの主な意見】

- ✓ **きれいが保たれた空間**
- ✓ 犬の利用に関するルールが明確になっている
- ✓ 落ち着く空間(1日中、人が滞在できるようになると、周辺住民にとっては落ち着かない)
- ✓ 高齢者でも利用しやすい空間



グループワーク①

●御殿山公園のこれからの方向性のイメージ図（案）



【方向性①（案）】

いろいろな世代が自由に
過ごせる芝生



3件



9件

【参加者からの主な意見】

- ✓ **芝生でなくてもよい**
草が生えていても遊べる仕様
- ✓ **日陰で休憩やおしゃべり**
できる
- ✓ イベントができる

【方向性②（案）】

多世代が安心して集える
防災機能を備える



12件



0件

【参加者からの主な意見】

- ✓ **防災機能が充実している**
- ✓ 地域の防災訓練ができる

【方向性③（案）】

いろいろな年齢の子ども
が楽しく遊べる



3件



4件

【参加者からの主な意見】

- ✓ **小さい子どもも遊べる**
- ✓ **学童等に活用できる**
- ✓ 子どもを見守れる空間

【複数の方向性に関わる参加者からの意見】

- ✓ 日常的に休憩したり、おしゃべりできる
- ✓ 子ども向けエリアにまとめた遊具がほしい
- ✓ 高齢者が集まれる
- ✓ **高齢者の健康づくりができる**
- ✓ 健康遊具を設置してほしい
- ✓ 健康遊具を活用した見守りができるとよい
- ✓ 子どもと高齢者が共存できる空間にしてほしい
- ✓ 芝生エリアにも防災機能がほしい
- ✓ 周辺の静かな環境との調和が必要(子どもの遊ぶ声、ボール遊び、夜間利用)

■グループワーク② 公園をもっと使いやすくするには？

次に、グループワーク①で選んだ「特に大事にしたい過ごし方」を実現するためにはどうしたらいいかをみんなで考えました。

💡 期待すること ! 配慮すること、課題 …… 提案、アイデア、工夫

テーマ		グループワークでのアイデアや意見	
遊び場の充実	広場	💡 高齢者が運動できたり、ゆっくりできる ! ボール遊びは他で行うよう誘導する …… 幼児の柔らかいボールなら可	💡 散歩や休憩、犬連れでの利用できる ! 幼児のボール遊びも禁止
	遊具	! 遊具の設置は、住宅前以外に …… 遊具の数、位置の見直し …… 幼児コーナーの設置 …… 鉄製遊具の入替 …… ブランコ下の凹の改善 …… 砂場に蓋を設置 …… 健康遊具の設置 (ぶら下がり棒や、平行棒)	! 子どもが集中する大型遊具は設置しない …… 砂場での事故が懸念されるので、砂場は撤去したほうがよい …… 子どもエリアの真ん中または、メインとなる遊具を一つ設置(ボール遊びの抑制、見守りしやすくなる) …… 遊具と広場のゾーンを入れ替える …… 学童や保育所の利用に対応できる遊具の設置
	周辺環境への配慮	! にぎわいのある活動は実施日時に配慮する	
防災	防災機能の向上	…… 防災用倉庫の設置(! 設置スペースや管理面の検討必要) …… 西側広場に、災害時にのみ利用できるトイレの設置 …… 防災かまど、防災ベンチ、防災トイレ	
滞在・利用しやすさ	水道	…… 立水栓の設置	
	トイレ	…… トイレは不要(維持管理が大変)	
	休憩所 ベンチ	…… 屋根、背もたれつき付きベンチの設置 …… 日陰のあるベンチ	…… 植栽とベンチの位置を離して虫刺され対策 …… ベンチの増設 …… 熱くならないベンチ
	園路	…… 芝の周縁に歩きやすい舗装の散歩コースを設置し、キロポストを設置する …… 傾斜や土、水たまりを無くし、だれでも利用しやすい広場にする	
	バリアフリー	💡 車いすや手押し車、杖でも歩きやすい	…… 手すり付きの散歩コース
維持管理	清掃	💡 雑草がない快適な公園の維持 …… 維持管理を改善し、定期的な清掃 …… 雑草対策として砂利を敷く	! 落ち葉、落枝が気になる …… 雨天後の水はけの改善
	芝生	! 天然芝は管理が大変	…… 人工芝または土にする
その他	ペット	💡 犬の散歩での利用 ! 犬の散歩は禁止にする	! 散歩のマナーを守ってもらう ! 子ども向けのエリアにはペットをいれない …… 一部のエリアを休憩、飼い主同士の交流に使えるようにする
他の公園や施設でできそうなこと		✓ イベント的に花火ができる日を設定する ✓ 学校の校庭を活用し、ボール遊びや自転車の練習ができるようにする	

今回のワークショップでは、利用ルールや高齢者に対する配慮、遊具などについて多くの意見が寄せられました。第2回ワークショップでは、上記のご意見をもとに、実現したい使い方や過ごし方を支える空間や設備について考えます。また、地域でできる工夫や関わり方についても話し合います。